

在日大韓基督教教会 宣教90周年標語

일어나 예수 그리스도의 빛을 발하자
立て イエス キリストの光を放とう
(이사야60:1, 마태 5:16)

世界改革教会連盟(WARC)第24次総会が7月30日(水)にアメリカ合衆国のミネソタ州セントポール市にある「セントポール・メソヂアン」教会で開会式が行われ、約200名の代表者が参加した。この総会は、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。今年も、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。

この総会では、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。今年も、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。

この総会では、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。今年も、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。



閉会礼拝

この総会では、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。今年も、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。



この総会では、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。今年も、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。

世界改革教会連盟 第24次総会開催

奴隷貿易の現場、奴隷地下窟巡礼



全協夏期修養会開催

「現代を生きるイエス・キリストと共に」主題に

8月11日(水)、山梨県河口湖サンコートにて、在日大韓基督教教会青年会全国協議会(全協)主催(後援・信徒委員会)による第55回全国青年夏期修養会が開催された。参加者は中学生7名を含む55名だった。今年も、全国から集まった青年が多くを学び、また生き生きと輝く場となった。

今年度の全協は、主題「現代を生きるイエス・キリストと共に」、副題「一人ひとりが形成する共同体」を掲げて活動を行ってきた。今回の修養会もこの主題・副題に

あやうなアフリカ奴隷貿易の現場、奴隷地下窟巡礼。この総会では、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。

この総会では、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。今年も、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。

この総会では、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。今年も、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。

この総会では、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。今年も、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。

この総会では、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。今年も、世界改革教会連盟の加盟教会が一堂に集まり、信仰の告白と祈りを捧げ、互に励ましあう機会となる。

全国高校生夏期学校開催

全協修養会に帯同、中学生7名が参加

8月11日(水)、山梨県河口湖サンコートにて、全国高校生夏期学校が開催された。参加者は、安藤希希名、高2、金京一(折尾・高1)、金真一(折尾・高1)、張錫在(名古屋・中3)、田中恵時(名古屋・中3)、高要韓(名古屋・中3)の7名であった。

今回の夏期学校は、昨年に引き続き、基本的には全国青年夏期修養会と併行して行われる。参加者は、安藤希希名、高2、金京一(折尾・高1)、金真一(折尾・高1)、張錫在(名古屋・中3)、田中恵時(名古屋・中3)、高要韓(名古屋・中3)の7名であった。

今回の夏期学校は、昨年に引き続き、基本的には全国青年夏期修養会と併行して行われる。参加者は、安藤希希名、高2、金京一(折尾・高1)、金真一(折尾・高1)、張錫在(名古屋・中3)、田中恵時(名古屋・中3)、高要韓(名古屋・中3)の7名であった。

代表取締役 金 根 熙

関東地方会信徒修練会開催

4 年の 主題講演 통해 祝福받아

지난 2004년 8월 16
日(月)부터 18日(水)까
지 富士箱根에서 関東地方
会 信徒修練会가 있었다.
韓國大邱 서부교회에서 約
50年間을 牧會하시고 隱退
하신 翁해 82歲의 이성현
牧師님을 講師로 모시고
『제일 좋은 길
을 너희에게
보이리라』(고
전 12:31)라
는 主題로 2
泊3日의日程
은 빨리도 지
나갔다.
全部로 4번
의 主題講演가
있었는데, 約
半世紀의 牧會
生活를 통해
『물속, 깊은 곳
으로부터 조용
하고 침착하게
나오라』(사
도 4:1)라는 主題로 2
泊3日의日程
은 빨리도 지
나갔다.
全部로 4번
의 主題講演가
있었는데, 約
半世紀의 牧會
生活를 통해
『물속, 깊은 곳
으로부터 조용
하고 침착하게
나오라』(사
도 4:1)라는 主題로 2
泊3日의日程
은 빨리도 지
나갔다.



『제일 좋은 길
을 너희에게
보이리라』(고
전 12:31)라
는 主題로 2
泊3日의日程
은 빨리도 지
나갔다.
全部로 4번
의 主題講演가
있었는데, 約
半世紀의 牧會
生活를 통해
『물속, 깊은 곳
으로부터 조용
하고 침착하게
나오라』(사
도 4:1)라는 主題로 2
泊3日의日程
은 빨리도 지
나갔다.

中部地方合同夏期学校が開催

「共に生きる世界をめざして」をテーマに

7月22日、24日、岐阜県
恵那市「雀のお宿キリスト
教会館」にて、中部地方合
同夏期学校が開催された。
信徒の高齢化や子どもたち
の教会離れによって、個教
会単位での夏期学校の開催
は困難の一途をたどってい
った。



「共に生きる世界をめざ
して」アブラハムとイサク
というテーマのもと、
プログラムが進められた。
金鍾吉牧師(地方会教育部
長・岐阜)の説教による開
会礼拝の後、1日目の夕方
には讃美とメッセージの時
間もたれた。メッセージ
を担当した金性済牧師(名
古屋)は、バベルの塔、ア
ブラハム、イサクの物語を

取り上げながら、目的を達
けるために人びとを同じ方
向へと向かわせる大きな力
が、バベルの塔であること
と、バベルの塔の試みが神
によって崩されたまことにそ
の現場であるカルデアのウ
ルから神の召しに應えて旅
立ち、行く先々で祭壇を築
いたのがアブラハムであっ
たこと、そしてイサクが異
境の地で他民族の様々な妨
害に遭いながらも、父が
掘った井戸を再び掘り返し
続けたとき、ついに敵と
和解し、命の水を皆で分か
ち合ったことなどを、子ど
もたちに力強く語った。
2日目は、西アフリ
カ・コートジボワールの郭
起宗宣教師と、郭牧師をサ
ポートしつつ定期的にコー
トジボワールを訪れ医療宣
教に携わっている金誠淑執
事(名古屋)を招き、話を
聞いた。子どもたちは神さ
まの愛を携えて「井戸掘
り」をし「命の水を分かち
合つて」いる大人たちの生
の体験に触れ、神さまに遣
わされ、人に仕えるという
ことが、具体的にどうい
うことであるかを学んだ。
午後には近くの遊園地に
赴き、うだるような暑さの
中ではあったが、プールに
乗り物にと楽しい時を過ご
した。またその夜は、趣向
を凝らしたキャンプ・ファ
イヤーや楽しいゲームなど
で時を過ごし、夏期学校は
クライマックスを迎えた。
最終日、夏期学校で学ん
だことを各分級ごとに発表
する全体発表では、教師の
予想を上回るすばらしい発
表が、豊かな表現方法を

もってなされた。人は耕
し、種を蒔くが、育ててく
ださるのは神さまである、
というみ言葉の真理を改め
て感じずにはいられない、
満たされたひと時であっ
た。合同夏期学校は、襄明
徳牧師(岡崎)の閉会礼拝
をもって幕を閉じた。
今回の夏期学校には、名
古屋教会、岡崎教会、長野
教会、豊田めぐみ伝道所か
ら子ども37人、教師・保護
者22人が集まった。このよ
うな大所帯にもかかわらず
ず、また就学前の幼児たち
の参加にもかかわらず、最
後まで事故もなく無事に終
えられたことを、神に感謝
したい。また、夏期学校の
ために労を惜しまず努力し
た教役者や教師たち、そし
て食事の面から夏期学校を
支えた保護者に感謝の意を
表したい。
(報告・許伯基)

関西地方合同夏期学校を開催

5教会40名が参加してキャンプ楽しむ



7月25日、26日、関西地
方会教育部主催の「関西地
方合同夏期学校」が兵庫
県三田市にある関西学院千
刈キャンパスにおいて開催さ
れた。主題は「ヨナ」であっ
た。今年は関西地方会の5
つの教会(京都南部、京都
東山、布施、日本サラン、浪
速)の教役者、信徒、子ど
もが集まり、参加者は40名
であった。
25日は夕食と賛美の時間
の後、開会礼拝を挙げた。
開会礼拝では、委員長母
の司会のもと、教育部長の
楊尚眞牧師による説教(イ
ザヤ29:31)があった。そ
の後、学年別に6つに分か
れて分級をもった。この時
間のため各分級担当の教師
たちが熱心に準備して教
え、子どもたちも熱心に学
んでいたのが、皆に大きな
感動を与えたと思う。
その後、日も暗くなる
中、キャンプ・ファイヤー
の時間をもった。関西学院
大学の学生ボランティアか
らキャンプ・ファイヤーの
ダンスを教えていただき、
キャンプ・ファイヤーは盛
り上がった。そして、汗を
流した後、冷たいスイカを
皆で食べて終わった。
26日は、中国の体操を

한국전통식품제조

백설처럼 하얗고 쫄깃합니다.

珍味 **쌀떡국·쌀떡볶이**
고소하고 진한 맛이 자랑입니다.

珍味 **참기름·볶음참깨**
한국전통의 참 맛을 전하는 기업

製造元: 株式会社 世珍物産
東京都足立区南花畑4-8-4

각종 한국식품 도매판매 합니다

TEL (03) 5831-3830 FAX (03) 5831-3823
www.korealand.jp

海外旅行はマイカーで

自宅⇄空港の移動は絶対オススメです

有限会社 聖永商事
免税店 聖永商事
関西国際空港駐車場
デリバリーパーキング関空
VIPカーデリバリ関空

会 長 禹 永 吉(関空伝道所 長老)
代表取締役社長 禹 辰 磨(関空伝道所)

本社: 〒598-0045 大阪府泉佐野市松原2-5-6
TEL.0724-64-3719 FAX.0724-64-3503
フリーダイヤル: 0120-69-0775
E-mail: seiei@startpage.co.jp

愛三グループ

愛三産業株式会社

済州カントリー倶楽部

代表取締役社長 白 一 善

本 社 東京都墨田区江東橋4-6-4 TEL (03) 3633-7477(代)
済州C・C 韓国済州市寧坪洞2238-2 TEL (064) 702-0451(代)
ソウル事務所 韓国ソウル特別市鍾路区内需洞167 TEL (02) 739-3327(代)



光明園家族教会を訪問

70名が共に礼拝を捧げる

関聖連

関西地方聖歌隊連合会(関聖連)の恒例行事である岡山のハンセン病療養所 邑久光明園にある日本基督教団光明園家族教会への訪問が、7月19日に行われた。

今回は、関聖連だけでなく、1年ぶりに大阪教会の青少年合唱団(リトルジェイズ)も参加し、40名を超える訪問団となった。第1部の礼拝では、関聖連が「キリエ」「聖霊賛歌」「豊か大地」「主といつも一緒」をそれぞれ讃美し、楊尚真牧師(京都南部)が「あなた達はこの世の光である」と題してのメッセージを伝えた。礼拝の参加者は、家族教会の方以外に在

関西韓国YMCA創立30周年記念式を開催

在日本韓国Y新理事長に李鍾善長老を選出

7月2日、関西韓国YMCA創立30周年記念式が、理事会員をはじめ近隣教職者、米国や韓国、そして日本全国からYMCAの同労者を迎えて、第1部感謝礼拝、2部の感謝会と盛大に挙行された。

在日本韓国YMCAは1906年春東京で設立され、2006年には創立100周年を迎える長い歴史を誇る。キリスト教信仰に立つた祖国の指導者養成を目的として出発し、苛酷な植民地支配下、祖国の独立と発展に寄与することを切望する若い青年たちに日本語教育や寄宿舎を提供し、聖書研究をはじめ、研究発表やクラブ・サークル活動を援助しながら、同胞の学びと交わりの場としての役割を果たしてきた。そのなか

ら、1919年の「2・8独立宣言」に象徴されるように、故国の近・現代史を担う多くの指導者を輩出した。また、創立から2年後の1908年には、YMCAでの祈りと聖書研究の高まりの中から、在日宣教の始まりともいえるべき東京教会を生み出し、苦難の時代を共に神の宣教の業に参与してきた。

1945年8月15日、日本の敗戦により祖国の解放を迎えた後、在日本韓国YMCAは、荒廃状況の中から再建に取り組みつつ、留学生から、居住者である在日韓国人を事業の主たる対象とするに伴い、在日韓国人の過半数が居住する大阪を中心とした関西地区にYMCA運動が必要であるとの結論が当然のこ



え、それから30年間、日本YMCA同盟、大阪YMCAの支援もあり、80年9月に現在地に念願の会館が与えられ、名称も新たに「YMC Aアジア青少年センター」として、「人権・福祉・平和」をキーワードに事業活動を展開中だ。

主の豊かな御恵みと御導き、そして、近隣の韓日諸教会と会員および関係諸団体、関係者の祈りとお支えにこたえ、これまでの歩みを振り返りつつ、在日同胞文化の創造と共生社会に向けて、一層の努力が求められていることを確認すると共に、創立100周年に向けて祈りのうちにお支えを期待する。

なお、記念式に先立ち「2004年度第1回在日

部会 西女性

一日研修会を開催

止揚学園の福井達雨先生に学ぶ

西部地方教会女性連合会主催による一日研修会が、7月15日、神戸教会堂にて27名の参加のもと開催された。

第1部の料理講習会では、講師の黄英主執事(神戸東部)より九節板や豚カルフビの煮し煮などの韓国料理を教わり、美味しくできあがった料理をみんなで昼食をとった。そのあと行われた第2部の研修会では、福井達雨先生(止揚学園)より「弱いことは素敵やない」と題してのメッセージが、第2部コリント12:7

本韓国YMCA理事會が主催され、新たに第24代理事長として名古屋教会の李鍾善長老が選出された。

(報告・金秀男・在日本韓国YMCA総務)

え、それから30年間、日本YMCA同盟、大阪YMCAの支援もあり、80年9月に現在地に念願の会館が与えられ、名称も新たに「YMC Aアジア青少年センター」として、「人権・福祉・平和」をキーワードに事業活動を展開中だ。



全協修養会参加手記

全協夏修に参加して

田中理恵



全協夏修に初参加した。新たな人との出会いと再会、小さな希望と励ましを与えてくれた。もろだくさんの内容は、多角的な面から、現実社会の盲点に気づきを与えてくれた。そこからは得ること、考えさせられることもたくさんあった。そして、今改めて思い返す中、気づく。夏修始まるの礼拝から、発題・講演・発表・バリロ礼拝に至るまで、素材や切り口は異なっても、それぞれの根底、行きつく先はみな「平和」へ。独りじゃなかった。

つなげるかな? つなぎたいな。いつかつなげるといいな。

手をつなげなかった、ただそのことを憶える。それでも尚、誰かとつながろうとする経緯。つながりたいと想い続ける想い。やがてそれは個に帰し、神に帰することになる。やがては隣人と手をつなぐことができるように、平和への祈り。となろう。差し伸ばされた手の行きつく先にあなたの手がありますように。私の手がありますように。

「平和」、それは「絶やさない灯」である。ひとりひとりが「灯」である。あるいは「命」とも言えよう。私たちの存在する意味。受け継がれてきた重み。しかし、その「灯」はやがてこの社会を、地域を照らす光となる。隣り灯とともに。

部会 西壮年

一泊研修会を開催

柳尚熙長老を講師に迎え

西部地方教会壮年会主催による一泊研修会が、7月18日、グリーンピア三木(兵庫県)で開催された。直前に宿泊施設の変更というハプニングもあったが、今回は夫婦参加も多数あり、37名が参加した。

開会礼拝は、梁昌熙会長の司会のもと、「正義と愛の調和」(エペソ2:14、19)と題した金徳化牧師の説教があった後、権寧国牧師の祝福で終えた。引き続き、第1回目の講義が、柳尚熙長老(東京中央教会、一松学舎大学教授)よ

り「バイブルの家庭観」我が子の教育(創世記22:25、テモテ5:8)をテーマとして行われた。柳長老は、教育というのは、教えることではなく、考える力や応用力を引き出すこととあり、子どもに自分で考え行動して悩み、それを乗り越えることによって喜びや悲しみを経験させることである、と語った。

翌朝には早天礼拝があり、厳粛な講義の証しと玄承長老のメッセージを恵みのうちに聞くことができた。その後の第2回目の講

全国高校生夏期学校感想文

高校生夏期学校に参加して

呉美智(京都教会・高2)



分団での話し合いでは自分にとってイエス様はどんな存在なのかということを考えてみられ、そして他の人たちの意見が聞けた。そして何より私が夏修で一番心に残っているのが分科会での「心のノート」から見た「心」だった。この「心のノート」は中学生の頃、少しかだけ使ったことがあったので興味深かった。

その分科会に参加してみると最初に「貿易ゲーム」をした。そのゲームのときに貿易をして「道具」があったグループは豊かに、なかったグループは豊かに